

	<h2>55. 土壌章</h2>	★ 考査員認定	
---	------------------	---------	--

考査細目	考査方法	考査のポイント
(1) 酸性土壌の検出法2種以上について説明でき、そのうち1種について実演すること。	口述・実演(1種)	—
(2) 土壌の化学的成分を説明できること。	口述または記述	—
(3) 湿土の取り扱いと改良法について説明できること。	口述または記述	—
(4) 土壌と動植物、微生物の関係について説明できること。	口述または記述	—
(5) 次のうち1種について説明できること。 ア 農耕地または芝生の地力の劣化防止法2種以上 イ 荒地の再生法3種以上	口述または記述	—
(6) 農耕地で5種の耕土を採取し、びん詰めとして標本を作り、採取の場所を記して提出すること。	作品(標本)の提出	・各種の特徴を説明させるとよい。
(7) 近隣の地形をもとに土壌の崩壊を防ぐプランを立案し、設計図により説明できること。	口述、作品(設計図)の提出	—